

みのもんたのサタデーずばッと (TBSテレビ)

平成 20 年 4 月 26 日 (土) 5:45 放送



TBSテレビの「みのもんたのサタデーずばッと」に与野党の代表とともに出演し、道路特定財源や後期高齢者医療制度について討論した。(写真はテレビ画面より撮影)

道路特定財源に関して野党議員から、12兆円近くの税金が国土交通省関連の公益法人に支出されていると指摘されたことについて、高木陽介は次のように述べた。(要旨)

高木陽介

この「12兆円前後が(国土交通省関連の)公益法人、いわゆる天下り団体に(補助金や交付金として)いっている。これをなんとかしろ」という意見について、)私も3週間前にこの番組で、ちゃんと精査しなければいけません、と申し上げました。それでどう流れているかのと、いろいろ調べました。その結果、国立大学に渡しているのが1兆円近くあります。私立学校に5千億円出しています。これがないと、学校の運営ができない。そのほかにも奨学金にこの10年間で、(それまでの)5倍の100万人がもらえるようになりました。これらも、いわゆる「公益法人」に出しているわけです。

みのもんた

そういうのはカットしてほしくないですね。

高木陽介

それ以外にも中小企業の金融公庫や国民金融公庫、まさに銀行が貸してくれない融資を、政府系金融機関にお金を貸し付けて（それが金融機関から中小企業に融資されて）いる。それもその12兆円の中に入っているんですね。

みのもんだ

（12兆円）すべて（削減）というわけにはいかないってことですね。それは分かりますね。

そのへんの区分け、色分けというのは、ピシっとしてもらいたいですね。

高木陽介

これはやらなければいけないと思います。

みのもんだ

だから、独立行政法人の問題でも、国立博物館とか、そういうところは残さなければいけないとか、ありますね。

高木陽介

もう一つは先程申し上げた、（道路特定財源の）2兆6千億がなくなって、（歳入が不足したときには）道路（建設）を止めることは可能だと思います。ただ、これは宮城県の知事が、3月31日にNHKニュースのインタビューで答えていたのですが、「今までの地方自治体は、道路は借金をしながらもつくってきました。（道路）特定財源・暫定税率で、その借金返しもやっています」と。道路（建設）は止めることができます。しかしながら、借金は返さなければいけない。そうすると（道路特定財源・暫定税率が廃止になると）これは今予定している一般会計の教育・福祉（予算）も削らざるをえないので、ここはなんとか、税率は戻していただきたいというのが、知事のインタビューだったんです。

みのもんだ

正論は正論ですよ。知事のおっしゃる（通りです）ね。
